

集会案内

毎日曜日： 祈 禱 会 1:15pm - 1:45pm
 礼 拝 2:00pm - 3:20pm
 ブレイク 3:30pm - 3:50pm
 聖書研究 4:00pm - 4:50pm

毎月1回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ又はアーバイン
 10:30am - 昼食
 出張礼拝 JPシニア・ホームズ
 10:30am - 12:00pm

教会住所： c/o Grace Hills Church
 24521 Moulton Pkwy
 Aliso Viejo, CA 92637

- ★ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ★ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。

地 図



ホームページ： www.irvinihongokyokai.org

Irvine Nihongo Kyokai

連絡先： 榊原宣行 牧師 電話：(714)827-6244
 Eメール：nobu@occc.org

杉村 宰 牧師 電話：(714)527-1456
 Eメール：sugimura1950@gmail.com

◎ 石叫 ■ 「サンタクローヌはいるの？」

今から百年ほど前のことである。アメリカの新聞「ニューヨーク・サン」は、八才の女の子から「サンタはいるんでしょうか？」との投書を受けた。いると思っていたのが、友達からサンタなんていないよ、と言われたからだ。論説委員のフランシス・チャーチ氏の答えだ。ヴァージニア(ヴァージニア・オハノン)は、それは友だちの方がまちがっているよ。きつと、見たことがないと、信じられないんだね。でもね、大人でも子どもでも、ぜんぶがわかるわけじゃない。サンタクローヌがいなかったら、みんな、なにを見たっておもしろくなるだろうし、世界をたのしくしてくれる子どもたちの笑顔も、消えてなくなってしまうだろう。サンタクローヌが来なかったとしても、なんにもかわらないだってサンタクローヌは見た人なんていないし、サンタクローヌがいなくてもうしろもこないんだから。ほんとうのところは、だれにもわからないんだ。でもね、ふしぎな世界には、どんな強い人がたばになつてかかっても、こじあけることのできないカーテンみたいなものがあるんだ。むじやきな心とか、詩をたのしむ心、愛とか、人を好きになる心だけが、そのカーテンをあけることができ、ものすごくきれいでかっこいい世界を見たり、えがいたりすることができるんだ。うそじゃないかって？ ヴァージニア、これだけはいえる、いつでも、どこでも、サンタクローヌはいつまでも心の中にいる。それはほんとうだよ。ヴァージニア何千年、いやあと十万年たっても、サンタクローヌはずっと、子どもたちの心をわくわくさせてくれると思うよ。

主イエスは、死よりの復活の後で、弟子のトマスに現れ、「見ないで、信ずる者は、さいわいである」(ヨハネ二〇・29)と言われた。彼は実際にその体に触れてみなければ、決して信じないと信じていたからである。だが、トマスのように体験でしか信じられないとすれば、主の生きていた時代の人しか信じられないことになる。だが、見ても見なくても誰でも信じられるように、主は聖霊という神を送ってくださり、信じる事ができるようにしてくださったのである。サンタクローヌの話が信じる者の心を温かくするのだとすれば、ましてや主の力強い愛が、信じる者の心を明るく照らして下さらないはずがあるだろうか。

Rev. Sukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の動きをし、月一回の家庭集会と、シニアホームでの出張礼拝を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。